



# 川面が丘7月号



令和4年(2022年) 7月 1日 宝塚市立宝塚小学校

校長 藤山 昌生



今年は、あっという間に梅雨明けし、連日、暑い日が続いています。朝登校してくる子どもたちは、日傘やネッククーラーなどの対策をしていますが、すでに汗だくで、児童玄関のミストに「気持ちいい」といいながら通っていきます。

毎年この時期が来ると、宝塚ゴルフ倶楽部のご厚意で、市内の学校園にたくさん七夕用の竹笹をいただきます。子どもたちの願い事が書かれた色とりどりの短冊や七夕飾りが、教室前に飾られています。願い事を書くということは、子どもたち一人ひとりが、その実現に向けて「がんばっていきたい！」と宣言しているものだと思います。それをみんなで応援したいと思います。

そんな竹を見ていてふと思いついたことがあります。私が小学生(5~6年生)のとき、学校の机の中に置いていた小刀で、休み時間に友だちと一緒に竹トンボを作っていたことです。1つ作っては運動場で飛ばしてみても、次に作るものは羽の角度を調整しながら、同じクラスの博くんと競い合っていました。思い起こせば、担任の先生は小刀を自由に使わせてくれました。そうして、刃物には危険なところもあるからきちんと自己管理をしなければいけないこと、間違った使い方をしてはいけないことなどを教えてくれたのだと、今になってその凄さを感じました。また、竹トンボをつくりたくなってきました。

竹は、とても成長が早い植物です。春のタケノコを見ていると、あっという間に伸びていき、次に見たときにはもうすっかり竹になっています。それが固くなっていくとあの竹の強さが維持されるようです。また、根も土の中に強くしっかり伸びることで、竹は強いだけではなくしなやかさを持ち合わせています。私たちがこの竹の「強さ」と「しなやかさ」に学び、いろいろな困難に立ち向かっていきたいと思います。

7月は、1学期の学習のまとめの時期となります。そして、5年生は自然学校、6年生は修学旅行と宿泊行事が続きます。感染症や熱中症への対策をしっかり講じながら、充実した教育活動を進めていきたいと思います。

全校で取り組んだ折り鶴が6年生によって「千羽鶴」としてまとめられました。6年生は宝塚小学校の代表として、7月7日に広島平和公園にある「原爆の子の像」にこの千羽鶴を捧げてきます

